

悲願のJFL昇格を果たしたジェイリースFCの選手ら＝
11月24日、千葉県市原市のゼットエーオリブリスタジアム



ジェイリース JFL 昇格

追跡 2025大分

応援の輪も後押し

社会人サッカーのジェイリースFCは11月下旬の全国地域チャンピオンズリーグ（CL）を制し、アマチュア最高峰のJFL昇格を果たした。「ついにJFLに昇格できた。将来は優勝を狙えるチームをつくりたい」。今月8日に大分市内であった報告会。中島拓オーナーはクラブを立ち上げた経緯や苦楽を感慨深く振り返り、今後の目標を語った。

飛躍の一年となった。毎

年上位争いを演じてきた九州リーグで初めて頂点に立ち、単独チームで臨んだ今秋の国民スポーツ大会は2位。JFLを目指す全国のチームがたつた一つの席を争う同CLで優勝し、悲願を達成した。

創部から8年。2021年に県リーグから九州リーグに上がり、昨年も同CLまでは進んだ。あと一步で昇格を逃し、八反田康平主将は今季、「昇格したいではなく、必ずする」との思いで取り組んでいる」と繰り返してきた。

チームを運営する新会社を4月に立ち上げたのは「本気度」の表れ。地道なPRで認知度も高まり、同CL最終戦の生配信は約1400人が同時視聴した。中島士会長は「応援の輪が広がったことも昇格の大き

な要因」と感謝する。

来季はJ3昇格を目指すヴェルスパ大分との「大分ダービー」が実現する。ヴェルスパの生口明宏ゼラルマネジャーは「（Jリーグ参入を目指す）ジェイリースと目指すところは違っても同じサッカーファミリー。切磋琢磨しながら大分を盛り上げたい」。

国スポの少年女子では柳ヶ浦高も準優勝。J2大分トリニータを頂点に、裾野を広げながらレベルを高めてきた県サッカー界全体が盛り上がる一年となった。

県サッカー協会の五所睦雄専務理事は「今年は強化策が開いた素晴らしい年。互いに補い合いながら、それぞれが魅力的で夢と希望にあふれるチームをつくってほしい」と期待した。

（中丸遼）